

観光立国推進本部観光連携コンソーシアム（第4回）議事概要

1. 日時 平成22年4月21日 17:30~18:30
2. 場所 観光庁国際会議室
3. 出席者

【メンバー】

辻元国土交通副大臣（座長）、藤本国土交通大臣政務官（事務局長）、立岡内閣官房内閣審議官、津村内閣府大臣政務官、渡辺総務副大臣、吉良外務大臣政務官、中川文部科学副大臣、中尾厚生労働省大臣官房審議官、舟山農林水産大臣政務官、富田経済産業省大臣官房審議官、田島環境副大臣

【有識者】

大江靖雄氏（千葉大学大学院園芸学研究科教授）、小林美佐子氏（越後田舎体験推進協議会事務局長）、大野睦氏（有限会社ネイティブビジョン代表取締役）

- 最初に、辻元国土交通副大臣より「今回は新たな観光の先駆けとも言えるグリーン、エコがテーマであり、是非ともご意見を賜りたい」との挨拶。
- 続いて、大江靖雄氏より農村ツーリズムの現状と政策的課題について、小林美佐子氏より越後田舎体験（グリーン・ツーリズム）について、大野睦氏より屋久島（エコ・ツーリズム）についてヒアリング。
- 出席者間で概要以下のような意見交換が行われた。
 - イタリアのアグリツーリズムは長期休暇制度により、需要の裾野が拡大している。アグリツーリズムは他のホテルと比べて安いため、それだけ長期滞在が可能であり、選ばれている。質と付加価値としての食が選ばれる要因として考えられる。
 - 屋久島ではエコツアーガイドの更なる質の向上を目指し、認定制度等のレベル底上げのための議論をしているが、関係機関の連携が必要。
 - トイレの保全募金があったり、入山料募金があったりと、様々な制度が複雑化している。入山交通量規制があり、地元住民も有料でバスに乗り換えなければならないため、観光客と地元住民に対して、どのように対応するか等の課題がある。

以上